



トウホクサンショウウオの卵囊

# 里山通信

## 『蒲沢(かばさわ)』

第35号

平成20年4月22日発行

発行責任者

里山ねっと「赤坂」

代表 和田 伸太郎

☀️ 雨で1日順延になりましたが、4月20日(日)恒例の春の里山ハイキングを実施しました。総勢28名の方が参加。水道タンクの脇から入り見晴台をめざしました。見晴台付近の左側の雑木林は、現在青野木に造成中の廃棄物処理場から排出される土砂を埋め立てるためにすっかり伐採され、景色が一変してしまったのはびっくりしました。当初はここから畑前草地に向かう計画でしたが、牧草地が牛糞を撒布中なので予定を変更、見晴台から沢に降り送電線にそって東屋<sup>あづまや</sup>にいたる

コースを歩きました。何箇所かロープにつかまりながら急斜面をアップダウン、油断すると足をとられて尻もちをつきそうになります。ハラハラドキドキの谷渡りでしたが、赤ちゃんの時から参加して3歳になった小川ちゃんも含め全員無事に到着、楽しい体験が出来ました。途中お目当てのカタクリの群生や今が盛りのシュンランを見ることが出来ました。また林道沿いの水溜りにトウホクサンショウウオのドーナツ型の卵囊に産みつけられた珍しい卵を発見することも出来ました。



(東屋での記念撮影)

